



教育理念（あいことば）

やさしさ 勇気 喜び そして 夢

タカラッキー

<http://www.ueis.ed.jp/school/takaragi/>

宝木小学校だより 第2号
令和6年5月2日発行

（発行者 室田 和宏）

地域住民は「土」先生は「風」・・・

ある雑誌にこんな言葉が紹介されていました。4年ぶりに宝木小学校に帰ってきて1か月、まさにこのことを実感する日々でした。学校を愛し、宝木地区を愛し、子供たちを温かく見守る地域の方（保護者の皆様もちろん含まれます）は、5年や10年では揺らぐこともなく、「土（地域の地盤）」を耕し続けてくださっています。「先生お帰りなさい！」と声をかけてもらった時にはとてもうれしく感じますし、まちづくり協議会や、各種団体の総会等に顔を出させていただくと、とても懐かしい顔ぶれが並び、頼も

しい気持ちになります。校内に目を向けても、**授業参観・懇談会&PTA総会・常置委員会**

では、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。たくさんのお家の方に見守られ、子供たちはとてもうれしそうで、笑顔はいつもよりも“数パーセント増量！”していたようです。執行部役員の皆様には、休日の執行部会をはじめ、事前の準備にたくさんの時間をかけていただきました。ありがとうございました。

昨年度からの**50周年の記念事業**も、いよいよ記念式典（6月22日）が近づいてきました。アーティストumi.さんとの大点描画制作も、4月25日に実施した1年生の活動で完成となりました。ここにも、たくさんの地域の皆さんの力が結集されています。

私たち教職員は、関わる期間も限られた「風」のような存在かもしれませんが、せめて“さわやかな風”と感じてもらえるよう、心がけたいと思いを新たにしました。



宝木っ子プロジェクト ～めざせあたりまえチャンピオン～



“あたりまえのことをあたりまえにできる人になろう”と、宝木っ子プロジェクトに取り組んでいます。あたりまえを心がけ、行動できている時には左のような「宝木っ子カード」で称賛の気持ちを伝えるようにしています。全職員がカードを持っているので、児童には全員分を集めるつもりで頑張ってもらいたいと思います。

あたりまえの①が「宝木っ子は元気なあいさつ！大きな返事！」なのですが、宝木小の児童は本当に元気な挨拶をすることができるので、とてもうれしい気持ちになります。子どもたちから、宝木の地域じゅうにあいさつの輪が広がっていったら素晴らしいことです。ご家庭でもお声掛けいただき、「地域にかわいがってもらえる宝木っ子」を育てていきましょう。ちなみに、その他の“あたりまえ”は・・・

②言葉づかいはカッコよく「です」「ます」

④きれいにしよう学校を！

⑥歩こう右側を！ ろうかと階段

⑧時計を見てきびきび行動 やろう5分前行動

③正しく使おう 学校のもの・自分のもの

⑤下駄箱は くつとうわばき そろえよう

⑦つけよう！名札